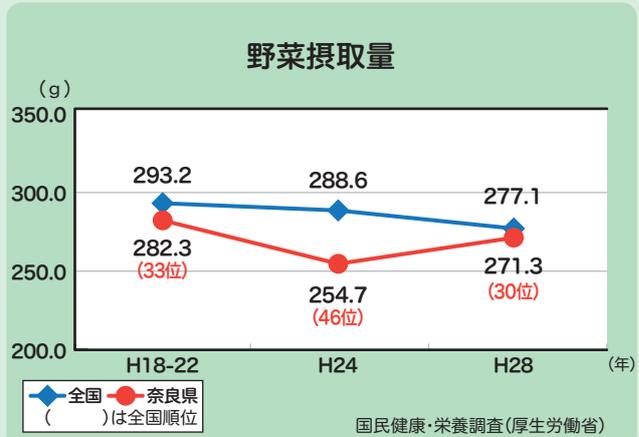
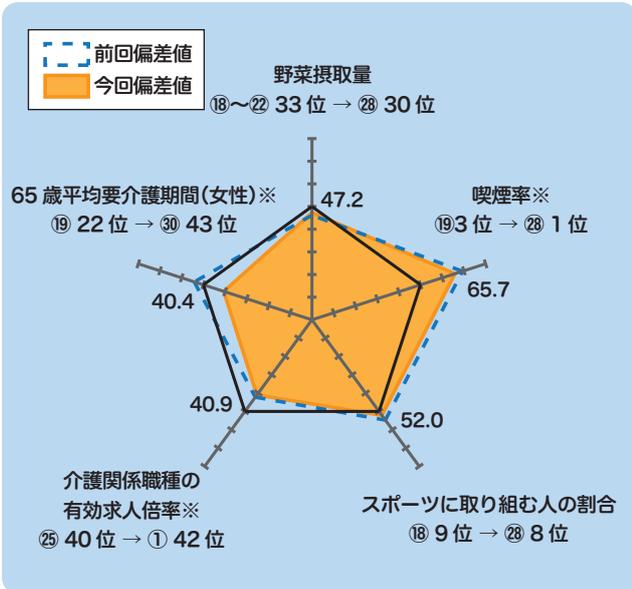
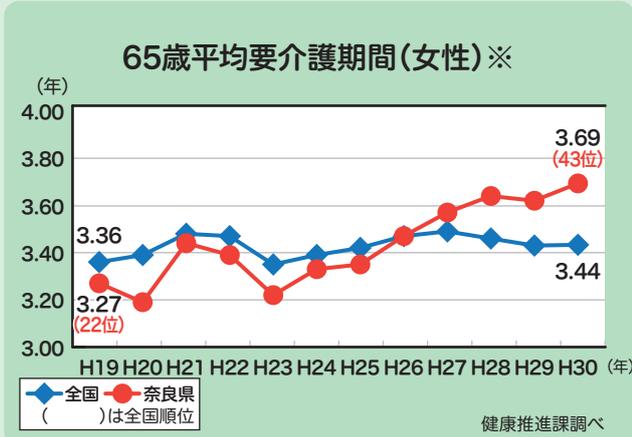




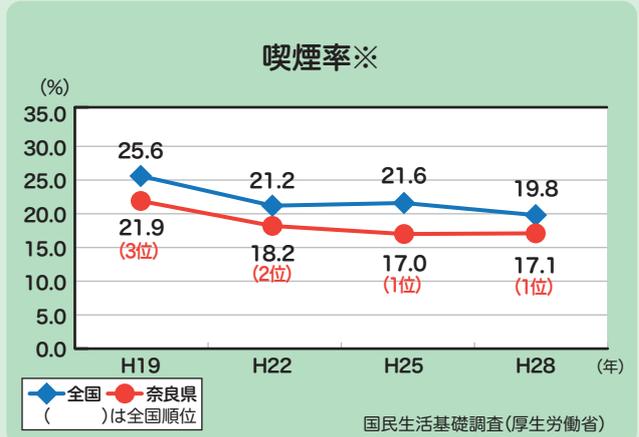
15. 健康寿命日本一を目指した健康づくり



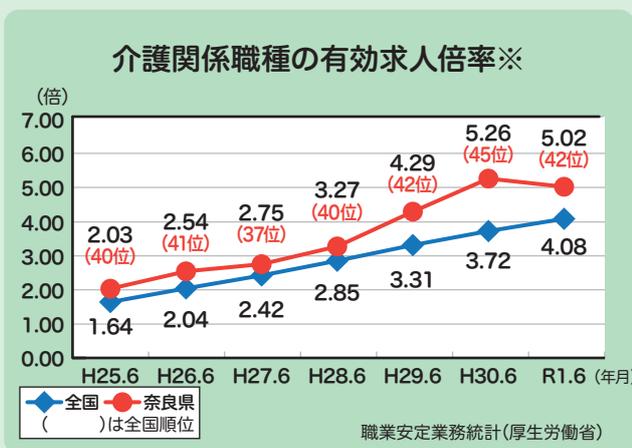
平成28年の野菜摂取量は、平成18～22年と比べて11.0g減少しており、全国平均を下回っています。



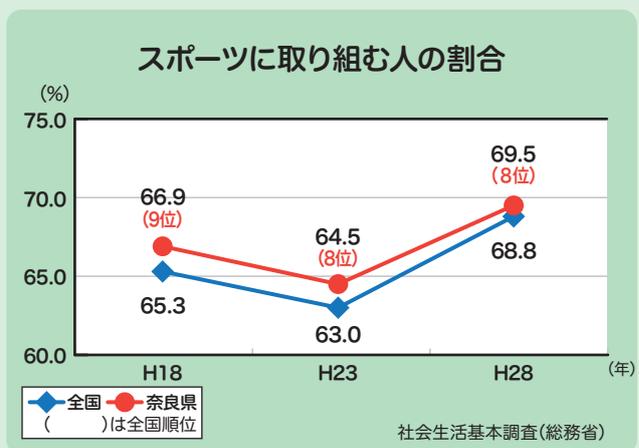
平成30年の女性の65歳平均要介護期間は、平成19年と比べて0.42年延長し、全国平均を上回っています。



平成28年の喫煙率は、平成19年と比べて4.8ポイント低下しており、平成25年に引き続き全国1位となりました。



令和元年6月の介護関係職種の有効求人倍率は、平成25年6月に比べ2.99ポイント増加し、全国平均を上回る水準が続いています。



平成28年のスポーツに取り組む人の割合は、平成18年と比べて2.6ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。

※は数値が低い方が良くなる指標です。



(86) 健康増進施策の推進

これまでは

「健康寿命日本一」の目標達成を目指して、健康、医療、介護分野の計画を連動させた健康増進の取組を進めてきました。

- ・女性の健康寿命の全国順位は横ばいですが、男性の健康寿命の全国順位は4位となりました。
- ・健康的な生活習慣普及の取組として、禁煙支援、運動推進、減塩・野菜摂取の推進等に取り組んできました。

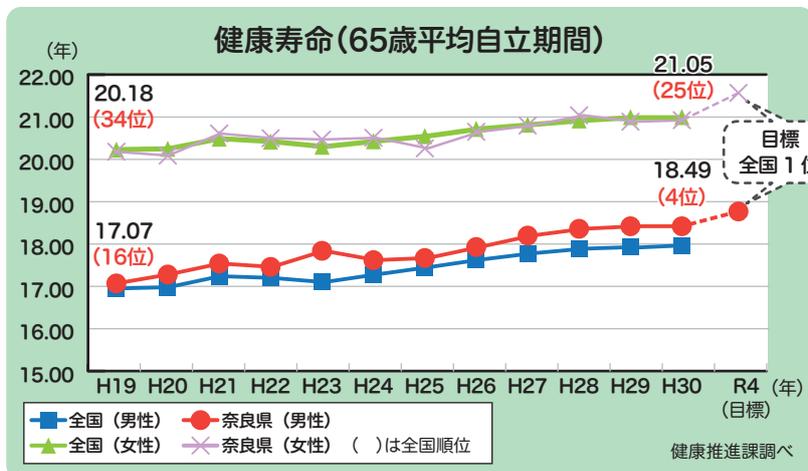
もっと良くするために

- ・健康、医療、介護分野の計画を連動させた取組を推進、それぞれの関連計画に数値目標(KGI)を定めます。
- ・健康増進分野では、市町村支援の強化により、県民の健康づくり習慣の定着を促進します。
- ・医療分野では、がん検診受診率の向上を図り、早期発見によるがん死亡率の減少を加速化します。
- ・介護分野では、住民運営の通いの場を充実させ、百歳体操などを行うことで、地域の健康度を高めます。
- ・これらの取組を効果的に進めるため、市町村と協働・連携して健康づくりの担い手である保健師の確保に取り組めます。

目指す姿

令和4年までに県民の健康寿命(65歳平均自立期間)を男女とも日本一にします。

奈良県の健康寿命の順位は男性がトップクラスで、女性の方が低いんだね。



そのとおり。女性の健康寿命も延びるように、これからも健康づくりや介護予防に取り組んでいきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
減塩・野菜摂取の推進	中食の減塩・野菜増量の推進、市町村食育計画の推進支援		
たばこ対策の推進	禁煙支援体制の整備、市町村と連携した啓発事業や禁煙希望者への支援、未成年者喫煙防止対策及び受動喫煙防止対策の推進		
身体活動の推進 おでかけ健康法の普及	県営健康ステーションの運営、健康ステーション設置市町村への支援		
介護予防の推進	住民運営の通いの場の充実		



(87) がん対策の推進

これまでは

がん死亡率が大幅に改善しました。

- ・がん医療の充実として、拠点病院等の医療提供体制を整備し、がん医療の空白医療圏の解消、高度医療機器の充足を図りました。
- ・がん予防・早期発見の推進として、個別受診勧奨・再勧奨等の取組によるがん検診受診率の増加、たばこ対策の推進により喫煙率が減少しました。

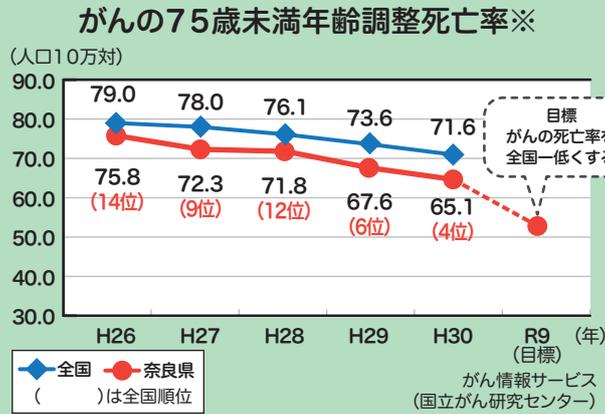
もっと良くするために

- ・データに基づいたがん対策(予防・検診・医療)の充実と県民へ医療情報の見える化を図ります。
- ・県内でのがんゲノム医療等の高度医療・先進医療の提供に向けて、医大附属病院で診療機能の強化を図るとともに、それらを担う人材育成、医療施設間のネットワーク化を進めます。
- ・市町村とともに、これまで低かったがん検診受診率の向上を図ります。

目指す姿

令和9年のがんの75歳未満年齢調整死亡率を全国一低くします。

奈良県のがんの死亡率は、年々減少してきて、全国でも、上位となってきていますね!



※は数値が低い方が良くなる指標です。

そうです!データに基づく効果的ながん対策、がんゲノム医療等、高度医療・先進医療の提供を推進し、がん死亡率が全国一低い県を目指します。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
データに基づいたがん対策の充実及び県民への診療情報の見える化の推進	地域別にデータに基づく効果的ながん対策の提案	「がんネットなら」の公表データ更新	
がんゲノム医療提供体制の整備	県立医科大学に腫瘍内科学講座を設置、がん薬物療法専門医の育成、がんゲノム医療に係る医療施設間の機能分化及びネットワーク化		
がん検診の推進	「がん検診を受けよう!」奈良県民会議における普及啓発、団体等の表彰、好事例の共有 がん検診精度向上のための従事者研修会の実施		



(88) 高齢者の安全安心なくらし

これまでは

奈良県の高齢者は、経済的には豊かだと言われてきましたが、住み慣れた地域で健康で生きがいを持って暮らし続けていただけるよう安全な地域づくりと社会活動の機会づくりに取り組んできました。

- ・ ならシニア元気フェスタの開催でスポーツ参加
- ・ ならビューティフルシニア表彰の実施
- ・ 認知症サポーターの養成
- ・ 奈良県立大学でシニアカレッジを開講

もっと良くするために

高齢者を取り巻く日常生活の諸課題に地域で取り組み、高齢者がともに支え合って活躍できる地域づくりをより一層推進します。

- ・ いきいきシニアのさらなる社会参加
- ・ 高齢者の安心な暮らしを支援
- ・ 元気シニアの就労促進

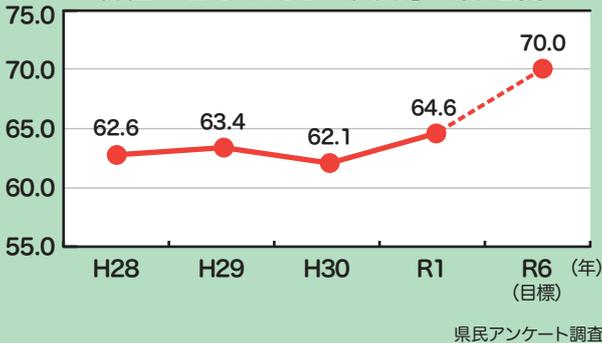
目指す姿

令和6年度までに県民アンケートにおける高齢回答者(60歳以上)の「現在の暮らし向きの実感」の満足度70%を目指します(「満足している」「十分とはいえないが一応満足している」の回答者率)

高齢化の進展で、様々な課題がでてくるんだね



県民アンケートにおける高齢回答者(60歳以上)の「現在の暮らし向きの実感」の満足度



そうなんです。高齢者の社会参加や就労促進などを図り、安全・安心に、暮らしに満足できる社会を実現しますよ。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生涯学習、スポーツ・文化活動の推進	ならシニア元気フェスタの開催、老人クラブ活動支援		
高齢者の権利擁護の推進	市町村や奈良県社会福祉協議会との連携による成年後見制度の推進		
移動手段の確保・移動支援の充実	コミュニティータクシー等導入に向けた調査・検討	調査・検討を踏まえたコミュニティータクシーモデル事業等の実施	
介護分野への参入促進の取組強化	介護体験出前講座の実施、介護のお仕事入門研修の実施、介護事業所とのマッチング		